

2026年10月26日

株式会社インボイス

株式会社 LayerX 共催

「多拠点企業の本部と拠点の分断を見直す」オンラインセミナー開催のお知らせ

このたび、株式会社インボイス（代表取締役社長：仁多見 斎、本社：東京都江東区）は、株式会社 LayerX（代表取締役 CEO：福島 良典、本社：東京都中央区）と共催で、「拠点ごとにバラバラな経理業務、どう揃える？～業務設計から紙の請求書の電子化、申請・入力処理まで～」をテーマとしたオンラインセミナーを開催いたします。

LayerX × RealLight × INVOICE

視聴無料 | オンラインセミナー

拠点ごとにバラバラな
経理業務、どう揃える？

—業務設計から紙の請求書の電子化、申請・入力処理まで—

11月25日 WED [水] 14:00-15:00

株式会社RealLight CEO 公認会計士 山本 雄三
株式会社LayerX パッケージ事業部 プロダクトグループ長 坂井 悠
株式会社INVOICE マーケティング推進部 渡辺 寛樹

開催日時	2026年11月25日（水）14:00～15:00
講演テーマ	拠点ごとにバラバラな経理業務、どう揃える？ ～業務設計から紙の請求書の電子化、申請・入力処理まで
参加費	無料（事前登録制）
開催形式	オンライン（Zoom）
主催	株式会社 LayerX 株式会社インボイス
特別講師	株式会社 RealLight CEO 公認会計士 山本 雄三 氏
申込 URL	https://media.invoice.ne.jp/seminar/20261125seminar_invoice.html

INVOICE

株式会社 インボイス

H P R E L E A S E

■イベント概要

複数の拠点を構える経理の現場では、拠点ごとにルールが異なり、月末に多くの確認作業が発生するケースが散見されます。各拠点に直接届く請求書や、拠点独自の申請プロセスやルールにより、本社側では「費目が分からない」「支払いに間に合わない」といった確認が毎月発生しています。

この要因は、

拠点の「本社に送れば終わり」という認識と、

本社の「拠点到聞かないと処理できない」という拠点・本部間の分断にあります。

本セミナーでは、特別講師として ReaLight 社 CEO の山本雄三氏を招き、多拠点特有の経理課題を棚卸しし、その根本にある「本部と拠点のコミュニケーション不足による分断」に着目した業務設計を解説します。

さらに、インボイスより「請求受領フローの分断」の解決法として、各拠点に散在するインフラ請求書を本部の作業負担を抑えながら集約・データ化し、部門別配賦を自動化する仕組みをご紹介します。

申請プロセスの標準化から仕訳・支払入力の自動化までを一気通貫で実現し、本部の業務負担を軽減する「申請・入力プロセスの分断」の解決法について、LayerX 社が紹介します。

経理業務フローの改善に、ぜひお役立てください。

第 1 部

本社と拠点の「距離」が生む経理のばらつき — 実例から考える業務設計の第一歩

株式会社 ReaLight CEO 公認会計士 山本 雄三 氏、BPR 事業部リーダー 公認会計士 吉田 孝誠 氏

拠点ごとにルールや書類の流れが違い、本社の確認・集計が増えていませんか。多拠点企業で起きがちな課題を、飲食・買取店・物流・アグリ関連など複数業種の支援実例で整理し、根本にある本社と拠点の「距離」によるコミュニケーション不足に着目。拠点の実態を聞くことを起点に、可視化する単位・情報の入口・標準化の範囲をどう決めるかを解説し、自社の見直しの第一歩を考えます。

第 2 部

業務の標準化を阻む「散在する紙と電子のインフラ請求」をどう処理するか

—インフラ特化 BPO が実現する「集めず届く、請求書のデジタル化」

株式会社インボイス マーケティング推進部 渡辺 寛樹

多拠点企業の経理業務において、散在する通信費や水光熱費などの「インフラ請求」は、紙と電子が混在し、業務の標準化を阻む要因となっています。本セッションではこの課題に対し、各拠点から「請求書を集めない」インフラ特化 BPO の活用法をご紹介します。

INVOICE

株式会社 インボイス

〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-6-36 TEL 03-6910-1790(代表)

INVOICE

株式会社 インボイス

H P R E L E A S E

単純な業務代行ではなく、一括請求によって全拠点の請求を一つの電子データに取りまとめ、請求書の収集・支払いにかかる作業負荷がゼロになる仕組みを解説します。

第3部

バクラクシリーズによる多拠点運営企業の課題解決～申請の標準化から入力の自動化まで

株式会社 LayerX バクラク事業部プロダクトグロース部 坂井 慧 氏

多拠点を運営する企業は様々な課題を抱えています。申請の内容やプロセスは拠点ごとにばらつき状況が見えにくく、本部の入力負荷も膨らむばかりです。本講演では、累計 20,000 社以上にご導入いただいたサービス「バクラク」で、拠点に負荷をかけずに申請内容・プロセスの標準化と状況の可視化を実現し、仕訳・支払の入力自動化で本部の負荷を減らす方法をご紹介します。

■こんな方にオススメ

- ・拠点ごとに異なる運用ルールや紙の請求書受領により、毎月の確認・集計作業に課題を感じている方
- ・拠点の申請内容に不備が多く、差し戻しや確認の連絡に追われて本来の業務が進まない方
- ・各拠点の支払いをシステム連携で一元管理し、仕訳や入力の手間を削減したい経理責任者

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社インボイス マーケティング推進部 [担当：渡邊 貴之]

TEL：03-5859-5400

INVOICE

株式会社 インボイス

〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-6-36 TEL 03-6910-1790(代表)